



学校だより  
439号

# にしごの

令和4年度 No.6

令和4年8月30日

八戸市立西園小学校

文責：古川



## 83日間の充実した2学期に向けて

33日間の夏休みが終わり、8月24日より2学期が始まりました。コロナ感染の第7波が心配されましたが、大きな事故やけががなく無事に2学期を迎えることができほっとしているところです。

さて、1学期の終業式に2年生の2名の児童ががんばったことを発表しました。「1学期ががんばったことは発表です。勇気をもって発表しました。」「算数をがんばりました。何度も繰り返し読んで、考えて取り組みました。」二人の発表を聞いてとてもうれしくなりました。二人とも、今年の学校目標「ねばり強く挑戦する 西園っ子」全校朝会で伝えた「教室はまちがえるところだ」を理解し、それに向かって挑戦していることが感じられたからです。発表してくれた2名の児童だけでなく、たくさんの西園っ子がそれぞれめあてに向かって取り組んでいます。夏休み中の面談において、担任から一人一人のがんばりが紹介されたことと思います。これから始まる2学期も、1学期同様にめあてをもち、粘り強く挑戦する2学期にしていきたいと思っています。



夏休み寺子屋学習会

始業式では、2学期のめあてとして、次のことをお話しました。①コロナウイルス感染予防に継続して取り組みます。検温、手洗い、マスク着用など、うつらない、うつさないためのマナーを守りましょう。②勉強では、自分の考えをもって発表をがんばりましょう。そして友達のを自分の考えと比べながら聞き、学級みんなでよりよい考えをつかっていきましょう。③生活では「ありがとう」を毎日言えるようにがんばりましょう。お友達のよさを毎日一つつけてみましょう。④学習発表会やマラソン大会に向けて、自分の目標をもって、達成感や充実感をもてるように取り組みましょう。そして、学級学年みんなの力を合わせて劇や音楽を創り上げましょう。この4つのめあてをがんばってほしいと思います。

この夏休み、保護者の皆様には、子どもたちの学習や健康・安全をしっかりと見届けていただき感謝いたします。2学期も、保護者の皆様の協力を得ながら教育活動を進めてまいりたいと思います。御支援、御協力どうぞよろしくお願いいたします。

### 保護者・地域の方に見守られて

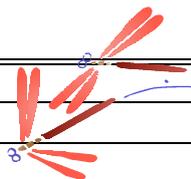
～夏休み中の保護者面談・学期始めの街頭指導ありがとうございました～

夏休みには、保護者面談に来校いただきありがとうございました。担任と、学校の様子や家庭の様子について共有する機会となったことと思います。2学期の指導に生かしていければと思っております。暑い中の来校ありがとうございました。

また、8月24日からの4日間、保護者の皆様に街頭指導をしていただきました。児童の安全の見守りに御協力いただきありがとうございました。

# 9月行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
9/1	木	クラブ活動	9/16	金	4時間授業13:25下校
2	金	5時間授業、全校大掃除(ワックス)	19	月	敬老の日
5	月	スクールカウンセラー来校(13:00~)	21	水	4年5時間授業、2年まち探検
7	水	全校朝会(児童発表)	22	木	クラブ活動
8	木	委員会活動、定期配信	25	日	登校日ではありません(日曜参観日は中止)
12	月	4時間授業13:25下校	26	月	通常授業(参観日中止のため通常の登校)
13	火	6年社会科見学	27	火	代表委員会、スクールカウンセラー来校(13:00~)
14	水	全校朝会(講話)	29	木	マラソン大会、委員会活動
15	木	6年中部活動見学、5・6年6時間	30	金	前期通信票配付



※9月25日(日)に予定されていた日曜参観日・PTAバザーですが、昨日の教育活動の変更のお知らせの通り、コロナウイルス感染防止のため、今年度は中止することといたしました。御理解いただきますようお願いいたします。10月に計画している学習発表会は、予定されている期日で、保護者の皆様の参観人数を制限し、2部制にして実施する方向で計画しております。9月中頃には、案内を配付いたします。



街頭指導ありがとうございます

## 「自分からやる子が育つ親の愛情」～生まれた瞬間から自立するもの考える～

1学期の学校評価アンケートの結果から、2学期がんばりたいこととして自分からも相手からも認められる自己有用感を高めたいことがあげられます。学校生活と家庭生活の中で、たくさん認めていく場面を作っていきたいと考えています。昨年も紹介しましたが、元養護教諭で、現在ハートマッスルトレーニングを開き、講演活動や執筆活動をされている桑原朱美さんが次のような内容のことを書かれています。

人は、産声をあげ、呼吸を始めると、母子をつないでいたへその緒が切り落とされます。そして、この瞬間から、一人の人間として生きていくための「自立の道のり」が始まります。

「子育て四訓」は、子どもの成長と親子の関係を次のように示しています。

乳飲み子からは、肌を離してはなりません

幼児は肌を離し、手を離してはなりません

少年は手を離し、目を離してはなりません

青年は目を離し、心を離してはなりません



子育てのゴールは自立です。つまり、子育ては、手放すことの連続なのです。ゴールを見失わない親は、どの時期に何を手放し、責任を負うべきことは何かを適切に判断します。それは、子どもが持つ可能性を信じているこそできることなのです。

子どもの自立を促すために、子どもの可能性を心から信じよう

西園小学校は、今年「粘り強く挑戦する 西園っ子」を目標に、児童自らが挑戦し取り組むことを後押ししていきたいと考えています。子どもの可能性を信じ、挑戦させ、伸びる子どもの成長を保護者の皆様と共有し、認め励ましていきたいと思っています。